

## エボラ・ワクチン研究、予算カットにより頓挫——米 NIH

RT (Russia Today)

October 13, 2014



アメリカは、もし予算カットによって科学研究が妨げられなかったら、エボラ・ウィルスが西アフリカから大西洋を越えてやってくる前に、ワクチンを作っていたら、と米トップの保健官僚は語った。

「正直なところ、もし10年も連続して続いた研究費削減がなかったら、我々はその期間の臨床実験を経て今頃はワクチンができていたはずで、おそらくこの事態に備えることが可能だったでしょう」と、米国立衛生研究所 (NIH) 長の Francis Collins 博士は話した。NIH は米政府第一のバイオ医学・医療研究管理部である。

不十分な資金は、コリンズによれば、NIH が 2001 年以来続けてきたワクチンを作る努力を妨げただけではない。ウィルスに対する治療方法もまた、「望んでいたよりもはるかに遅れ、安定した研究資金の水準が保たれていれば可能だった成果を得られていない。」

「我々は現在より 1 年か 2 年先を行っていたはずで、そうなればすっかり事態は違っていたでしょう」とコリンズは、水曜日、ハフィントン・ポスト紙に語ったが、これは、エボラ患者の Thomas Eric Duncan をテキサスの長老派病院で治療していたダラスの看護婦が、ウィルスに罹ったことが確認された 2 日前のことだった。

<http://rt.com/usa/195260-texas-ebola-health-care/>



NIH 所長フランシス・コリンズ

伝染病のワクチンのようなものに対する研究予算が滞ることによって、NIH や他の医療機関は、西アフリカで始まったエボラ熱の発生が、現在さらに蔓延しようとしている今、有効な解決法を見出せないでいる。

### 緊急時資金援助？

この最も新しいエボラ危機は、ほとんど西アフリカの、リベリア、ギニア、シエラ・レオネだけで 4000 を超える犠牲者を出しているが、ワシントンの法制定当事者たちは、いまだに緊急時資金援助の必要を認めていない。

「これについて熱心な者たちは誰もいないようです」とコリンズは言ったが、NIH の予算を 2021 年までに 462 億ドルに上げようという法整備の動きはある。

その間、NIH は「他の部門へ行くべきだったお金を、エボラに振り向けざるをえなかった」とコリンズは言う。

彼によると、現在の最上の見通しは、臨床試験を 12 月から始め、それをあともう数か月続けた上で、その薬が実際に効くかどうかを決定することができるというものだ。

「もしこれを解決するのにそんなに長くかかるとしたら、我々は基本的に、この流行病をコントロールするために、接触の経路を追うという伝統的な方法は失敗したことになります」と彼は、ワクチン研究以外の努力にも言及して言った。

NIH の現在のエボラ・ワクチンは、テストの結果は良好だった、とハフィントン・ポストは報じた。しかしこの研究はサルで行われたもので、人間についてではない。人間についての真剣な限定的テストは始まったばかりである。また、あるワクチンがカナダで開発されつつあるが、NIH の薬には並んでいない。

<http://rt.com/news/190904-ebola-vaccine-who-2015/>

この2つの“候補”ワクチンは「サルでは非常に有望な結果が出ているが、サルは人間ではない」と、世界保健機構（WHO）の所長助手の Marie-Paule Kien は、先月、言ったと AFP は伝えている。



NIH 本部

しかしコリンズは、ワクチンの潜在力のテストは、すぐに結論は出ないと言っている。

「時にワクチンは効かないだけでなく、事態を悪化させることがある」と彼は言った。「HIV ウィルスの段階テストがその例です。あのワクチンは HIV を防御しなかっただけでなく、免疫システムをより弱めるような作用をもっていたために、それは罹病率を高めたのです。ああいうことがここでも起こる可能性があります。」

ZMapp と呼ばれる実験混合薬が、エボラに罹った患者を治療するのに用いられてきた。しかしその供給が少ないのは、またしても資金不足のためである。

<http://rt.com/news/178032-ebola-experimental-drug-treatment/>

「技術以外の不足がもしなければ、今頃、我々はその有効性がよくわかって、それを大量にストックしていたことでしょう」と彼は言った。

他のオプションで Brincidofovir のような、10月8日に死ぬまでのダンカンを含めて、他のウィルス保持者に用いられているものもあり、これは短期間で効くが、いまだ十分な臨床テストを経ていない、とコリンズは言った。

一方ロシアは、最近、エボラに対して 70 から 90%の効力を持つ実験薬を、近いうちに西アフリカに送ると通告している。



米疾病予防管理センター（CDC）長 Dr. Thomas Frieden

## 米での発生は「起こらない予定」

日ごとに緊急性を増しながら、ワクチンの探求が進行している一方で、コリンズは、アメリカでのエボラ大発生の可能性はかなり低いと付け加えた。

「実質的におそらくゼロ・リスクの人々からの反応に、これはわが国をすっかり占領するのではないかと、多分起こらないことを心配する声が、確かにあります」と彼は言った。

「そして安心するように言っても、それは完全には浸透しません。いまだに有線放送などでこれを煽り立て、正直に言うとは時には、政府に対するある種の攻撃として、政治的目的に用いる人たちがいます。」

そうは言っても、これは現行のエボラ危機、エイズ以来最悪の疫病の危機の厳しさを減ずるものではない、とコリンズは、米 CDC 所長トマス・フリーデン博士に同意して言った。それでも、これをエイズに比較する発言はもっと根拠があるべきだ、とコリンズは言う。

「今日、エイズで死ぬ人は、これまでのエボラ流行の全体で死んだ人たちより多いのです。我々はどういうものか、それには慣れてしまったので、それほど脅威だとか恐ろしいとか思わなくなりました。確かにアメリカでは、今年、更に新しく 5 万人が HIV に感染するでしょう。それがあある意味で定着した数字だからです。」

「今年アメリカで、更に何人くらいの人々がエボラに感染するでしょうか？」と彼は付け加えた。「私は、両手の指で数えられるくらいだと言っておきましょう。それはダラスで死んだあの男性との接触が、実際どれくらいの感染になるかによります。」